

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 大月市社会福祉協議会

事業報告目次

1	法人運営事業	(1)
2	地域福祉推進事業	(5)
3	市受託事業	(8)
4	県社協受託事業	(1 7)
5	共同募金配分事業	(1 7)
6	福祉金庫基金	(1 9)
7	介護保険事務運営	(2 0)
8	介護保険訪問介護事業	(2 1)
9	介護保険通所介護事業	(2 4)
10	介護保険居宅介護支援事業	(2 5)
11	介護保険訪問入浴介護事業	(2 5)
12	障害者サービス事業	(2 5)
13	地域支援事業	(2 6)
14	ふたば保育園事業	(2 8)

令和元年度 事業報告

事業の実施概要

令和元年度は、新規事業として、市から「生活困窮者自立支援事業」の委託を受けました。社協では、この事業を含めて、これまで実施してきている「生活支援体制整備事業」や「指定特定相談支援事業」並びに「指定障害児相談支援事業」などとともに、個別支援に留まらず、事業を通じて地域づくりを進めていくことを意識するなど、積極的な地域福祉の推進に努めました。

また、依然として厳しい経営状況が続く中においては、安定的な経営を目指すため、第2次社協発展強化計画をもとに、「財政基盤の強化」を推進するとともに、人事考課制度や目標管理制度などの評価制度の確立を含めた「組織体制の整備と強化」について、具現化を図るための目標設定や職員説明会などを行いました。

更に、当会が運営する介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）とふたば保育園においても、充実した介護サービスの提供や育児支援など、市民の目線に立った運営に努めました。

1 法人運営事業

(1) 役員及び会議

①役員

令和元年度役員（理事・監事）は次のとおりです。

令和元年度役員		令和元年度退任者	
役員名	氏名	役員名	氏名
会 長	和 田 昌 弘	理 事	石 井 登 幸 吉 角 務 星 野 貞 文
副 会 長	小 俣 一 彦		
//	小 宮 文 男		
//	安 藤 睦 美		
理 事	飯 島 貞 夫		
//	小 林 幹 夫		
//	飯 島 政 道		
//	畠 山 哲		
//	佐々木幸三		
//	小 俣 理 美		
//	蜂 須 賀 所 明		
//	小 俣 民 男		
//	白 川 惠 子		
//	小 池 頼 行		
//	白 鳥 公 勇		
監 事	永 岩 尊 暢		
//	山 口 和 義		

②会議

ア 理事会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和元年 5月30日 （理事10名・監事1名）	① 会長の職務執行状況の報告 1 社会福祉法人社会福祉協議会経理規程の一部改正について 2 社会福祉法人社会福祉協議会職員資格取得経費の貸与規程の一部改正について 3 社会福祉法人社会福祉協議会介護保険等制度外訪問介護サービス運営規程の一部改正について 4 平成30年度大月市社会福祉協議会事業報告について 5 平成30年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 6 理事及び監事候補者の選定について 7 令和元年第3回大月市社会福祉協議会評議員会の開催
令和元年 6月14日 （理事12名・監事1名）	1 会長・副会長及び常務理事の選任について 2 顧問の選任について
令和元年10月17日 （理事12名・監事1名）	1 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会ふたば保育園運営規程の一部改正について 4 令和元年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について 5 評議員候補者の推薦について 6 令和元年第4回大月市社会福祉協議会評議員会の開催
令和2年 1月22日 （理事12名・監事2名）	① 専決第1号 固定資産車両取得支出について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 令和元年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について 4 評議員候補者の推薦について 5 令和2年第1回大月市社会福祉協議会評議員会の開催
令和2年 3月18日 （理事15名・監事2名） ※決議の省略	1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会新規事業について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会定款の一部変更について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 4 令和元年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号（案）について 5 令和2年度大月市社会福祉協議会事業計画（案）について 6 令和2年度大月市社会福祉協議会一般会計予算（案）について 7 令和2年第2回大月市社会福祉協議会評議員会の開催

イ 評議員会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和元年 6月14日 (19名)	① 社会福祉法人大月市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ② 社会福祉法人大月市社会福祉協議会職員資格取得経費の貸与規程の一部改正について ③ 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護保険等制度外訪問介護サービス運営規程の一部改正について 1 平成30年度大月市社会福祉協議会事業報告について 2 平成30年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 3 理事及び監事の選任について
令和元年10月29日 (17名)	① 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について ② 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について ③ 社会福祉法人大月市社会福祉協議会ふたば保育園運営規程の一部改正について 1 令和元年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について
令和2年 2月 5日 (24名)	① 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について ② 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 1 令和元年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について
令和2年 3月26日 (30名) ※決議の省略	1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 令和元年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号（案）について 3 令和2年度大月市社会福祉協議会事業計画（案）について 4 令和2年度大月市社会福祉協議会一般会計予算（案）について

※ ○数字の内容は報告事項。

(2) その他

①社協に対する寄附金ならびに寄附物品

次の方々や団体から浄財が寄せられました。寄附金については、社協福祉基金に積立を行いました。必要に応じ、地域福祉に係る事業等へ有効活用させていただきます。

年月日	氏名	金額(円)	物品の場合の品名
H31. 4. 17	山咲久義	100,000	
R1. 6. 18	小山田信茂公顕彰会	5,000	
R1. 7. 1	匿名	1,000	
R1. 7. 8	山梨県建設組合 大月支部	11,555	
R1. 7. 17	大月市ダンス愛好会	20,000	
R1. 9. 17	株式会社 花咲カントリー倶楽部	200,000	
R1. 9. 17	社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会	150,462	
R1. 11. 18	紅富士太鼓	64,381	
R1. 12. 9	岡部善幸・山田幸男	70,000	
R1. 12. 13	公益社団法人 大月法人会	100,000	
R1. 12. 13	大月市仏教会	100,000	
R1. 12. 16	小山田信茂公顕彰会	5,000	
R2. 2. 6	匿名	1,000	
R2. 2. 12	大月中央会	10,000	
R2. 3. 1	小山田信茂公顕彰会	5,000	
R2. 3. 30	山梨ヤクルト販売株式会社	30,000	
R2. 3. 31	車椅子レクダンス大月支部	5,000	
	合計(17件)	878,398	

(敬称略)

◎ どんぐり牧場のご厚意を受け、牧場でとれた卵を昭和59年5月より、市内の一人暮らし虚弱老人に配布しています。
令和元年度は15名の対象者に約月2回、年間約360パック(1パック8個入)、ホームヘルパーを通じ贈らせていただいております。

②苦情内容及び解決結果の公表について

令和元年度 0件

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動事業

①大月市地域福祉推進大会（社会福祉大会）

社会福祉に携わる方々と高齢者・障害者の方々などが一堂に会し、本大会を契機に新たな社会福祉の推進方策を探ることを目的に実施しました。

大会では、社会福祉の発展に功績のあった個人及び団体の方々を表彰し、感謝の意を表したほか、「地域共生社会の実現に向けた地域づくりのために、支えあい・助けあいの気持ちを地域で育み、地域の福祉力を高めよう！」と題し、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりのために、支えあい・助けあいの気持ちを地域で育てていくことの大切さについて、来場者一人ひとりが考え、学ぶことができるよう職員による手作りの演劇を行いました。

また、市内の関係施設等の紹介ブースも設置し、市民の方々への広報及び啓発活動として、多くの方々に知っていただくことができました。

- ・実施日 令和元年12月8日（日）
- ・場 所 大月市民会館 大ホール 参加者377名
- ・内 容 第一部 式典(社会福祉事業功労者への表彰)
第二部 演劇
第三部 関係団体の活動等紹介コーナー

②各種団体助成事業

各種諸団体が行なう独自の福祉活動等に対し助成を行ない、地域福祉の推進に努めました。

大月市障がい者福祉の会	70,000円
大月市保育所連合会	30,000円
大月市保育所保護者連合会	50,000円
地区社会福祉協議会（9地区）	807,000円

*地区社会福祉協議会への助成金は、共同募金と合わせて実施

③日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利養護に資することを目的としており、それらの方が地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行うものです。

実施主体は、各都道府県社会福祉協議会（山梨県社会福祉協議会）であり、基幹的社会福祉協議会（都留市社会福祉協議会）の専門員が利用者に対する具体的な相談、援助、監督を行い、利用者本人との契約締結により、基幹社協から委任された市町村社会福祉協議会（大月市社会福祉協議会）の生活支援員が利用者の通帳他書類などを預かり、日常生活における金銭の管理（公共料金などの支払代行、金融機関での手続きの代行、預金払戻しや福祉サービスの利用料の支払い手続きの代行）を行います。

令和元年度においては、知的障がい者3名、認知症高齢者3名、精神障がい者5名

計11名への支援を行いました。

尚、令和2年度より大月市社会福祉協議会が山梨県社会福祉協議会より業務委託を受け、基幹的社会福祉協議会として事業を実施してまいります。

令和元年度 利用件数

内 容 対象 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	不明		
件数	59	64	266	0	0	389

④ふれあい・いきいきサロン推進事業

ふれあい・いきいきサロンは、一人暮らしの方や高齢者、地域住民が徒歩で気軽に行ける場所に集い、孤立や孤独を防ぎ仲間づくりにつなげる現代風「お茶のみ会」です。

大月市内では、現在65サロンあり、各サロンの独自性を活かしながら活動しています。

1サロンにつき年2回程度、担当の職員がサロンへ訪問し、レクリエーションやお茶飲みを通じ、サロンや地域の課題把握に努めました。また、今年度は生活支援の調査のため簡単なアンケートなども実施しました。各地区のサロンの登録数等は次のとおりです。

サロン登録数65箇所／社協職員派遣回数100回程度

地区名	サロン数	増減	登録者数
笹子	5	±0	107
初狩	3	±0	40
大月	8	±0	261
賑岡	7	+1	190
七保	14	-2	328
猿橋	15	-2	276
富浜	5	±0	110
梁川	7	±0	141
子育て	1	±0	30
合 計	65	-3	1,483

(2) ふれあい福祉推進事業

①ふれあい福祉バザー

住民生活に密着した福祉事業に取り組むための自主財源の確保を目的として「ふれあい福祉バザー」を実施しました。

この収益金は、地区社協活動をはじめとする地域福祉への理解を深め、より充実させるために活用させていただきました。

- ・実施日 令和元年11月24日（日）
- ・場 所 大月市民会館 3階
- ・バザー提供品数 8,622点 売上金額 953,000円
- ・協力人数 述べ140名程度

②友愛訪問活動事業

一人暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などを目的として、地区民生委員児童委員に訪問の協力をお願いし実施しました。

(3月末における対象者数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	15	15	11	2	11	21	6	16	97

(令和元年度延べ対象者数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	145	205	156	32	116	292	110	188	1244

③ファーストスプーン事業

生後6ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭へ、各地区の民生委員と主任児童委員がご家庭を訪問し、子育ての悩みをお聞きし、子育て支援に関する情報等を周知しながら、赤ちゃんの名前と生年月日を刻印した県産の木の手作りスプーンをプレゼントする、ファーストスプーン事業を実施しました。

(令和元年度配布数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	0	4	14	11	8	16	6	1	60

(3) ボランティアセンター運営事業

①ボランティアセンター活動事業

ア 相談・登録・斡旋事業

- ・ボランティア（個人・団体）受付
- ・相談、ニーズに応じたボランティアの斡旋（施設・学校等）など
- ・ボランティア相談（登録、ニーズ、斡旋、福祉講話・教育、保険加入相談・事故対応）

○ボランティアセンターで把握しているボランティア

V活動が主目的か	ボランティア団体把握数		ボランティア登録数	
主目的	20団体	583名	個人	500名
主目的でない	4団体	2732名	—	
合 計	24団体	3,315名		500名

□大月市ボランティア協議会（地区ボランティア協議会5・サークル2 合計277名）

□その他ボランティア団体（絵手紙教室ボランティア・車椅子レクダンス「矢車草」大月支部・琴の会・秀皇会・芳たつ会・傾聴ボランティア「つゆくさの会」・童謡サークル・朗読ボランティア「如月の会」・音訳のボランティア「聲」・手話奉仕員・いずみ会・わんにゃん隊・まちなかカフェまどい）

イ 広報・啓発事業

- ・大月市社会福祉協議会、大月市ボランティアセンター「社協だより・ボランティアだより」全戸配布によるボランティア情報の発信を年間4回行いました。

ウ ボランティア養成講座・研修の開催

	講座名	回数	延人数
①	手話奉仕員養成講座入門課程	39回	293名
②	夏休み親子ボラ活体験	1回	10名

エ 大月市ボランティア活動普及協力校事業

学校名	指定期間	備考
大月市立初狩小学校	令和元年度（1年間）	地域学習体験など
大月市立大月東小学校	〃	地域先輩等の交流など
大月市立七保小学校	〃	地域ふれあい集会など
大月市立猿橋小学校	〃	農業体験、命の学習など
大月市立鳥沢小学校	〃	地域講師による授業など
大月市立大月東中学校	〃	大月探検・愛町活動など
大月市立猿橋中学校	〃	愛橋作業、地域交流など
山梨県立やまびこ支援学校	〃	特産物スイーツ、マルシェ参加など
フリースクールオンリーワン	〃	共生学習(カフェ、勤労)など
山梨県立都留高等学校	〃	探究プロジェクト事業など
自然学園高等学校	〃	地域行事協力、追分人形

- オ 福祉教材、体験用具の貸出及び講師派遣（高齢者疑似体験・ロービジョンセット・点字練習器・アイマスク・録音図書など）

- カ ボランティア協議会事務局業務

- キ 県内、市内各種行事への参加呼びかけとコーディネート

- ク 収集ボランティア活動推進（使用済み切手・ペットボトルキャップなど）
 寄付先（古切手→（福）ぶどうの里勝沼授産園、ペットボトルキャップ→NPO 法人エコキャップ推進協会）

- ケ 災害時の協定締結（一般社団法人大月青年会議所、公益社団法人東部広域シルバー人材センター）

3 市受託事業

(1) 在宅介護支援センター運営事業

①地域支援事業

- ア おおつきお助け隊フォローアップ講座（介護予防・生活支援サポーター養成講座）
 おおつきお助け隊養成講座を受講した方を対象に介護予防に関する知識や技術、生活支援援助及び高齢者への基本的な理解を身につけ、高齢者等への支援を行うための更なるスキルの向上を目指すことを目的に実施しました。

受講者 11/18（月） 36名

日 時	内 容 等
11月18日（月） 9：10～10：40	【講義】「災害時の備えについて」 【講師】NPO法人災害・防災ボランティア未来会 代 表 山下 博史 氏
11月18日（月） 10：50～11：50	ワークショップ 【テーマ】 「お助け隊活動において感じていること、気づきについて」

イ おおつきお助け隊養成講座（介護予防・生活支援サポーター養成講座）

高齢者等が住みなれた地域で安心して生活するため、地域住民に向けて、介護予防や介護及び高齢者への基本的な理解を深めてもらうことを目的に開催しました。

受講者 1/20（月） 1日目 20名・1/27（月） 2日目 20名

日 時	内 容 等
1月20日（月） 13：10～13：40	【講義】「おおつきお助け隊について」 「大月市の高齢者の現状」 【講師】大月市社会福祉協議会職員
1月20日（月） 13：40～15：40	【講義】「高齢者や障害者への理解」 「生活支援技術・家事援助と訪問時のマナー」 【講師】山梨県介護福祉士会 坂本 雅幸 氏
1月27日（月） 13：00～14：30	【講義・実技】「コミュニケーション技術について」 【講師】山梨県介護福祉士会 坂本 雅幸 氏
1月27日（月） 14：40～15：40	【実技】介護予防実践で使えるレクリエーション 【講義】お助け隊の活動について 【講師】大月市社会福祉協議会職員

②包括的支援事業

ア 地域包括支援センターブランチ型総合相談窓口事業

地域包括支援センター（大月市）を補完する形で地域における窓口機関として、市からの委託を受け、市内に居住する65歳以上の高齢者や障がい者等の総合相談に応じました。

また、相談内容は、生活支援や日常生活におけるちょっとした困りごとの相談が多く、地域や関係機関、各種団体等と連携を図り、問題の解決に取り組みました。

● 相談件数

新規	継続	合計
151	320	471

● 相談内容

福祉自動車	車イス	在宅福祉	介護保険	生活支援
163	147	8	4	149

イ 生活支援体制整備事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように地域の支えあい・助け合いの意識の啓発を図り、地域の多様な主体が連携を図れるような体制の整備を推進しました。

・小地域の高齢者ニーズの把握

市内10地区の地区社協の役員会に出席し、地域住民の声を聞くことによって、住民の生活課題や資源の把握を行うことや、市内のいきいきサロンに出向くことによって、参加者の日常生活の困りごと等を聞くことができました。

・地域づくり推進ワーキングの運営

地域づくり推進ワーキングを年2回(7月・12月)開催しました。3月に予定していたワーキングについては、新型コロナウイルス拡大防止のため、中止となりました。

ワーキングを開催することによって、各種団体及び事業者等の多様な主体の方々と目的意識・情報の共有や連携の場となっています。また、各組織においての課題や本市における課題等を考える機会ともなっています。

・小地域ネットワークを構築するため、町単位での2層協議体の設置に向けて、モデル地区を定め、学習会や懇談会、研修会等を開催しました。(真木・大月・賑岡地区)

③任意事業

ア 家族介護支援事業

在宅で寝たきりの高齢者並びに認知症高齢者の介護にあたっている家族介護者を対象に介護技術の習得や介護者相互の交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

回数	期日	場所	参加者	内容
1	平成31年 4月9日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	20	男女共同参画の標語の説明 オリエンテーション・交流会
2	令和元年 5月14日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	20	講義「身近なささえあいを考える」 大月市社会福祉協議会 地域福祉担当
3	令和元年 6月11日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	お気軽フィットネス 代表 浜田純一 氏
4	令和元年 7月9日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	20	講義「高齢者の福祉制度」 大月市役所福祉課
5	令和元年 8月6日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	講義・実技「福祉用具の活用法」 (株)フロンティア 中澤嘉之 氏
6	令和元年 9月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	18	講義「災害に備えて」 大月市役所総務管理課

7	令和元年 10月8日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	16	レクリエーション・交流会
8	令和元年 11月12日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	講義「栄養補助食品の活用について」 (株)クリニコ 立原泰葉 氏
9	令和元年 12月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	20	クリスマス会・交流会 忍者FUJIYAMAプロジェクト 主宰 染谷剛 氏
10	令和2年 1月7日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	17	講義「生活習慣病について」 大月市役所保健介護課
11	令和2年 2月4日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	16	茶話会・交流会
12	令和2年 3月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	—	コロナウイルス感染拡大予防のため中止

④高齢者生活支援事業

ア 家族介護用品支給事業（寝たきり老人等オムツ支給事業）

在宅のねたきり高齢者等の家庭にオムツを支給し、介護者の経済的負担の軽減を図りました。8種類の組み合わせから対象者に合った種類を選び提供しました。

なお、配布に際しては、民生委員児童委員の皆様が協力してくださっています。

地区名	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合計
年間延べ配布数	39	40	77	75	42	40	37	18	368

イ 高齢者訪問理美容助成金事業

寝たきり・心身の障害等の理由から、理容院や美容院に出向く事が困難な高齢者に対し、在宅において理美容を行った場合、その費用の一部を助成する事業です。

助成金は、1回につき3,000円を上限に、一人当たり年3回を限度として実施しています。

登録者数	利用回数	助成金額合計
10名	11回	32,200円

ウ 車いす無料貸与事業（社協単独事業）（貸出期間は原則最長2週間）

市内に在住する高齢者や障がい者、または怪我などにより、一時的に車いすが必要になった方へ無料で貸出を行ないました。また、ボランティア活動や福祉教育などにおける研修用機材として、地域や学校などに無料で貸出を行ないました。

年間の利用状況は次のとおりです。

利用申請数	147件
-------	------

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	14	17	11	14	13	11	18	10	15	8	11	5

(2) 高齢者生きがい活動推進事業

高齢者等を中心とした事業を以下のとおり実施しました。

① ツキフェス19 (大ツキふれあいスポーツフェスティバル)

児童や高齢者、障がい児者、ボランティア等の年齢の違いや心身の状態の異なる全ての市民が一同に集い、ふれあいを深める場として開催しました。

ゲームやレクリエーション、アトラクション等により楽しい1日を過ごしました。

- ・実施日 令和元年10月26日(土)
- ・時間 午前10時00分～14時30分
- ・場所 大月市民総合体育館
- ・参加者 530名

② 老人大学運営事業

心身ともに明朗かつ強健な老人生活を樹立するために開設された老人大学の事務局として、老人福祉の増進に努めました。

- ・サークル数17部(学生286名)

- ①園芸部 31名 ②手芸部 17名 ③華道部 9名 ④書道部 19名
- ⑤詩吟部 13名 ⑥舞踊部 8名 ⑦大正琴部 8名 ⑧囲碁部 12名
- ⑨茶道部 10名 ⑩短歌部 7名 ⑪社会部 23名 ⑫ダンス部 27名
- ⑬料理部 10名 ⑭コーラス部 21名 ⑮カラオケ部 46名
- ⑯フラダンス部 16名 ⑰水墨画部 6名

- ・全体学習

月 日	学 習 内 容
R1.5.8	講座「局地的大雨から身を守る」甲府地方气象台
R1.7.3	講座「悪質商法と消費者トラブル」県民生活センター
R1.8.21	講演「かけがいのない命を大切に」渡辺光美氏
R1.9.18	演奏「星野忠昭&ちゃんオールディーズ
R2.1.8	新年互礼会「ふたば保育園児演技」・「和太鼓・桂竜
R2.2.5	老人大学「講師会」 講師の方20名

- ・年間行事

(平成31年) 4/17 第50期入学式・学生自治会

(令和元年) 10/23～24 修学旅行

(日光と鬼怒川温泉の旅)

(令和2年) 3/18 第50期修了式・老大祭【中止】

*3月から「新型コロナウイルス感染症」予防の為、老人大学行事は中止しました。

(3) 障害者社会参加促進支援事業

障がい児者の社会参加と交流の場づくり、相互扶助や個々の自立を図るための事業を実施しました。

①障がい者社会見学

障がい者の積極的な社会参加と交流を図る観点から、社会見学を実施しました。

令和元年6月2日 箱根 湿性花園と箱根遊覧船 参加者96名

②ふれあい講演会（障がい者理解普及啓発活動事業）

障がい者への理解や障害者福祉に対しての意識、啓発を図る観点から、ふれあい講演会を実施しました。

「虐待メカニズムを徹底解剖」講師：横浜市東部地域療育支援センター長 有賀道生 氏

令和元年9月22日 大月市総合福祉センター 参加者101名

③障がい者クリスマスのつどい

会員同士のふれあいを深めることを目的に普段、外出が困難な方でもだれでも参加できるように市総合福祉センターを利用し、クリスマスのつどいを開催しました。

令和元年12月15日 大月市総合福祉センター 参加者95名

④障がい者ボウリング大会

障がいがあっても、誰でも楽しめるスポーツとして、ボウリング大会を開催し、障がい児者の健康維持と会員相互の交流を深めることを目的に開催しました。

令和2年2月16日 都留ファミリーボウル 参加者52名

⑤社会参加交流事業「ぐーちょきぱー」

心身に障がいのある在宅（外出や就労の機会が得られない）の方を対象に、年4回の交流会を実施しました。また、保護者の交流の場、意見交換の場として大月ネットワーク会議を開催しました。

令和元年 5月26日（日） 参加者22名 「お気軽フィットネス」

令和元年 8月25日（土） 参加者19名 「色々な室内ゲームをたのしもう」

保護者講義：地域生活支援拠点等事業整備について

令和元年12月 1日（日） 参加者28名 「お気軽フィットネス」

令和2年 3月15日（日） （中止） 「ひな飾りをつくろう」

・その他、「富士ふれあいの村まつり」（9/14）などにも参加しました。

(4) ふれあいのまちづくり事業

大月市ふれあいのまちづくり事業は、住み慣れたまちで、高齢者や障害者、児童など誰もが安心して生活できる助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう福祉のまちづくり

を目的に、地域のネットワークを利用し活動を展開しました。

令和元年度は、昨年に引き続き地区組織活動推進委員会（地区社協）を中心とした地域のネットワーク強化に重点をおいた取り組みを行いました。

①地域住民の各種相談（心配ごと相談事業）

- ・行政及び様々な相談機関等と連携を図りながら相談に応じました。

②福祉活動、交流活動の啓蒙と展開

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポート

社協職員が受けもつ地区担当制の配置により、地域と連携を密にし住民主体の地域福祉の推進を図りました。

- ・地域福祉推進大会（社会福祉大会）

「ともにささえあう福祉のまちづくりを推進しよう」をスローガンとして開催しました。

社協職員・関係施設団体・一般市民の協働による、地域づくりのための寸劇を行い、地域福祉の重要性を広く市民や福祉活動に携わる方々に啓発し、理解を深めることができました。（再掲）

③地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋及び養成研修

- ・各種ボランティア講座及び研修会の開催を行いました。（再掲、ボランティアセンターとの連携）

④地域とのネットワーク形成及び住民参加の福祉活動（見守り活動、サロン活動等）の支援

- ・ふれあい・いきいきサロンの推進

希望したサロンに職員派遣を年2回程度行い、課題把握などに努めました。

- ・ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催

地域間の温度差なく市内全域で活発的なサロンが運営されるよう、皆で情報交換し考え、ふれあい・いきいきサロンが更に発展していくことを目的に開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止としました。

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポートを行いました。（再掲）
- ・友愛訪問活動による見守り活動を行いました。（再掲、継続実施）

（5）災害時要援護者登録制度事業

災害発生時に自力または家族の力だけでは避難することが困難な方々（災害時要援護者）を、地域で日常から把握し、見守り・声掛け活動等を行い、一緒に避難が出来るような体制をとるための登録を本人からの申請制で登録を行い台帳の作成をしています。

この台帳は、委託契約に基づき地域内の関係組織に情報提供をさせていただいていま

す。また、登録者には、減災行動マニュアルとして避難所（地）の確認や減災グッズのチェックリストの配布を行いました。

令和元年度末現在の登録者数は、次のとおりです。

地区名	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川
登録者	16名	5名	70名	19名	21名	40名	56名	30名
合計								257名

(6) 障害者相談支援事業

①委託相談支援事業（一般的な相談）

障がい者（児）及びその家族の生活を支援し、在宅障がい者（児）の自立と社会参加を促すとともに、障害者福祉の推進を図ることを目的に、大月市より委託を受け、障害者相談支援事業を実施しました。

相談支援件数は374件で、「不安の解消・情緒安定に関する支援」「福祉サービスの利用等に関する支援」「健康・医療に関する支援」等が主な支援内容でした。

令和元年度の実績は次のとおりです。

	種別実人員							相談支援 件数
	身体 障害	重度 心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能 障害	合計	
障がい者	2	1	21	15	0	2	41	374
障がい児	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2	1	21	15	0	2	41	

※令和元年度中終結としたケース1名（逝去）

②指定特定相談支援事業ならびに指定障害児相談支援事業（計画相談）

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者（児）の自立した生活を支え、障がい者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援することを目的に、障害福祉サービス等の利用計画の作成を行ないました。

	種別実人員							相談支援 件数	
	身体 障害	重度 心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能 障害	合計	モニタ リング	計画 作成
障がい者	4	0	10	6	1	1	22	17	22
障がい児	1	0	0	0	0	0	1		
合計	5	0	10	6	1	1	23		

※種別実人員において令和元年度中に入院された方は未計上。

(7) 生活困窮者自立支援事業

今年度より、大月市から委託を受け実施しました。

大月市内に在住し、何らかの理由により経済的に困窮し、生活を維持することが困難となった方に対して、多重債務の支援や就労支援、ひきこもりの支援等、個々が必要としている様々なニーズに対し、相談者に寄り添い、各関係機関と連携を図りながら自立相談支援を行いました。

また、「生活福祉資金貸付事業」と一体的に実施することにより、支援体制の強化を図り、更には、フードドライブや生活必需品のリユースに取り組み、物品支援等を実施することで、相談者が必要としている支援に努めました。

今年度の相談支援件数等は次のとおりです。

- 相談支援者25名 ●年間延べ相談件数764件
- 食糧支援件数5件、その他の現物支援品5件（不用品等の提供品により対応）

(8) 総合福祉センター管理運営事業

①総合福祉センターの全施設の利用状況

総合福祉センターについては、各施設とも使用目的に沿って、事業の実施や運営管理に工夫を施すなど、利用者の立場を最優先に運営を行いました。

令和元年度は、297日を開館し、福祉団体をはじめ市民の多くの方々が利用され、成果を上げることができました。

各施設の利用状況等は、次のとおりです。

施設名	室名等	利用回数(回)	利用人数(人)	備考
2階 児童母子福祉センター	子ども家庭総合支援センター	286	645	
	児童館	263	4,229	
	計		4,874	
3階 障害者福祉センター	栄養指導実習室外	203	2,409	会議室を含む。 研修室を含む
	マザーズルーム外	281	2,580	
	計		4,989	
4階 保健センター	保健運動指導室	224	2,709	保健課計画に係る利用状況
5階 老人福祉センター	和室(研修等)	79	2,334	
	浴室 (主に浴室利用者)	/	2,638	
	計		4,972	
6階 多目的ホール	大小会議室	240	6,326	
見学・行事		3	547	
合 計			24,417	開館 297日

②福祉自動車貸与事業

介護を必要とする高齢者や障がい者等を対象として、通院や買物などの利便性を図ることや旅行などの余暇活動などを充実させることを目的に、車イスのまま乗れる福祉車両やリフト付きの福祉車両を貸出す事業を実施しました。

年間の利用状況は次のとおりです。

● 福祉自動車（軽自動車 2台） (単位：人)

利用目的	通院	旅行	買物・その他	計
利用者数	143	2	23	168

● 福祉自動車（ワゴン車） (単位：人)

利用目的	通院	旅行	買物・その他	計
利用者数	1	5	33	39

4 県社協受託事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金貸付事業を行いました。

資金の貸付による経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行っています。

年度の末には新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金でお悩みの方々へ向けた緊急小口資金等の特例貸付を実施しました。

令和元年度の相談状況は28件でありました。うち緊急小口資金の相談は8件でした。

5 共同募金配分金事業

令和元年度共同募金配分事業（平成30年度申請 令和元年度執行 但し歳末たすけあいについては令和元年度募金配分）

(1) 令和元年度実施事業

配分額 5,594,000円

項目	金額(円)	項目	金額(円)
地域社会福祉事業費	324,000	市町村社協活動費	600,000
地域福祉活動推進事業	1,500,000	小地域福祉活動事業	1,800,000
あったかサービス事業費	780,000	地域福祉活動団体推進事業	250,000
重点配分事業費	190,000	小計(B)	2,650,000
小計(A)	2,794,000	歳末たすけあい費(C)	150,000
		合計(A+B+C)	5,594,000

(2) 地区社会福祉協議会等からの募金状況

令和元年度地区社会福祉協議会及び団体等の実績

地 区	金額 (円)	地 区	金額 (円)
笹 子	201,200	瀬 戸	239,800
初 狩	456,000	猿 橋	1,112,500
真 木	287,421	富 浜	739,600
大 月	975,355	梁 川	201,200
賑 岡	705,664	事 務 局	541,228
七 保	608,400	合 計	6,068,368

(3) 地区社会福祉協議会等小地域福祉活動事業

「老人憩いの家」施設等の整備

高齢者相互のコミュニケーションづくりを目的に、集会所等の一部を「老人憩いの家」として整備しているが、さらに事業の推進を図る観点から、共同募金の配分を受け施設整備（施設修繕・備品購入等）の充実に努めました。

	地 区 名 等	整 備 内 容	配分金
令和元年度 実 施 (平成30年度 申請分) 14ヶ所	笹子地区 原老人憩いの家	テレビ等整備	10万円
	初狩地区 藤沢老人憩いの家	エアコン整備	10万円
	真木地区 上真木老人憩いの家	エアコン整備	10万円
	大月地区 大月区老人憩いの家	トイレ整備	10万円
	大月地区 沢井老人憩いの家	屋根塗装工事	10万円
	賑岡地区 ゆりヶ丘老人憩いの家	照明設備	10万円
	賑岡地区 神倉老人憩いの家	防災用品整備	10万円
	七保地区 葛野老人憩いの家	エアコン整備	10万円
	瀬戸地区 瀬戸中央老人憩いの家	テーブル・イス等整備	10万円
	猿橋地区 小柳老人憩いの家	照明器具整備	10万円
	猿橋地区 霞町老人憩いの家	照明器具設備	10万円
	富浜地区 大久保老人憩いの家	テーブル、いす等整備	10万円
	富浜地区 上西老人憩いの家	テレビ・いす等整備事業	10万円
	梁川地区 原老人憩いの家	テレビ等整備事業	10万円

(4) 歳末たすけあい補助事業

障害者施設である地域活動支援センター2ヶ所（NPO山ゆり大月・こわぜ）に年末年始の行事にあわせ、事業のための助成を行いました。

歳末たすけあい事業	NPO山ゆり大月 (共同募金)	75,000円
	NPOこわぜ (共同募金)	75,000円

6 福祉金庫基金

(1) 福祉金庫貸付事業

在宅老人福祉の充実、障害者及び低所得世帯の援護資金に供し、生活の助長福祉活動の推進を図ることを目的として行いました。

より緊急性の高いケースに対応し、貸付限度額は5万円として実施しています。

本事業の活用によって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るとともに、貸付を行うだけにとどまらず、対象となる方や家族の生活ニーズなどに対して総合的・継続的な相談支援を行なっています。

令和元年度においては、1名に対し合計5万円の貸付を行いました。

7 介護保険事務運営

介護保険法や障害者総合支援法に基づく事業として、介護保険指定居宅介護支援事業（介護サービス計画）、介護保険指定居宅サービス事業（訪問介護、通所介護。※訪問入浴介護については休止中。）及び障害者居宅介護サービス事業並びに障害者重度訪問介護事業（訪問介護）の運営がなされており、各事業所の令和元年度実績は下記のとおりです。

(1) 事業所の実施状況

	事業所名と職員体制	実績内容
1 指定居宅介護支援事業	(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」 【職員体制】 介護支援専門員 (ケアマネージャー) ・常勤 4名 ・非常勤1名 計 5名	・要介護者年間合計1,766件のケアプランを作成しました（月平均約147人）。 ・ケアマネージャー 一人当たり、約29.4人を担当しました。
2 指定居宅サービス事業	(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション 「花さき」 【職員体制】 訪問介護員 (ホームヘルパー資格) ・常勤 3名 (うち障害担当1名) ・非常勤登録 9名 計12名	・要介護の利用者年間延べ327人に対し、年間合計約3,873時間の介護を実施しました。 ・介護予防の利用者年間延べ94人に対し、年間合計約605時間の介護を実施しました。 ・その他、障害福祉サービス事業を実施しました。
	(2) 通所介護事業所 デイサービスセンター 「やまゆり」 【職員体制】 ・管理者（兼務）1名 ・生活相談員（兼務）2名 ・看護職員 常勤 1名 (機能訓練指導員兼務) 非常勤 1名 ・介護職員 7名 常勤 6名 非常勤 1名 (うち運転兼務4名) ・機能訓練指導員 1名 ・事務職員 2名 ・送迎者運転手(非常勤) 4名	・要介護者ならびに要支援等(利用者) 年間利用者延6,943人（月平均約578人、一日平均約27.1人）の受入れをしました。 営業日数は256日。 ※上記利用人数には、大月市介護予防日常生活支援総合事業通所型サービスを含む

8 介護保険訪問介護事業

(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

ア 介護保険分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護保険 延時間			合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		身体介護	生活援助	身体・生活 複合		
4月	26.0	189.8	29.0	108.5	327.3	12.5
5月	25.0	188.7	23.0	112.2	323.9	12.9
6月	25.0	185.4	27.0	120.5	332.9	13.3
7月	26.0	180.7	32.3	126.5	339.5	13.0
8月	28.0	159.0	26.0	143.8	328.8	11.7
9月	27.0	171.8	26.5	95.3	293.6	10.8
10月	28.0	184.1	25.0	108.5	317.6	11.3
11月	30.0	174.3	30.0	100.3	304.6	10.1
12月	34.0	201.5	24.1	70.8	296.4	8.7
1月	29.0	200.7	24.0	91.7	316.4	10.9
2月	26.0	202.0	24.8	118.0	344.8	13.2
3月	23.0	154.5	48.0	144.6	347.1	15.1
合計	327.0	2,192.5	339.7	1,340.7	3,872.9	11.8
1ヵ月平均	27.3	182.7	28.3	111.7	322.7	11.8
割合		56.6%	8.8%	34.6%	100%	

イ 介護予防分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護予防 延時間			合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		予防1	予防2	予防3		
4月	8.0	16.0	26.0	13.0	55.0	6.8
5月	8.0	13.0	25.0	13.0	51.0	6.3
6月	8.0	12.0	30.0	14.0	56.0	7.0
7月	8.0	19.8	29.0	13.0	61.8	7.7
8月	9.0	12.0	32.0	12.0	56.0	6.2
9月	8.0	13.0	33.0	13.0	59.0	7.3
10月	8.0	15.0	26.0	13.0	54.0	6.7
11月	7.0	14.0	23.8	10.0	47.8	6.8
12月	8.0	18.0	26.0	12.0	56.0	7.0
1月	8.0	17.0	20.8	12.0	49.8	6.2
2月	8.0	15.0	16.0	12.0	43.0	5.3
3月	6.0	9.0	18.0	14.0	41.0	6.8
合計	94.0	173.8	305.6	151.0	630.4	6.7
1ヵ月平均	7.8	14.5	25.4	12.6	52.5	6.7
割合		27.6%	48.5%	23.9%	100.00%	

ウ 障害者・自費利用者分

(単位：利用時間)

月別	利用者数			延時間				利用者 一人当たり 月平均 利用時間
	障 害	自 費	合 計	障 害		自 費	合 計	
				身 体	家 事			
4月	9.0	0.0	9.0	19.0	72.7	0.0	91.7	10.2
5月	8.0	0.0	8.0	14.0	69.7	0.0	83.7	10.4
6月	8.0	0.0	8.0	15.5	61.0	0.0	76.5	9.5
7月	8.0	0.0	8.0	18.5	60.3	0.0	78.8	9.8
8月	8.0	0.0	8.0	14.0	66.8	0.0	80.8	10.1
9月	8.0	0.0	8.0	18.5	55.0	0.0	73.5	9.1
10月	10.0	0.0	10.0	16.0	75.8	0.0	91.8	9.1
11月	11.0	0.0	11.0	15.5	69.3	0.0	84.8	7.7
12月	9.0	0.0	9.0	17.0	68.8	0.0	85.8	9.5
1月	10.0	0.0	10.0	13.5	41.3	0.0	54.8	5.4
2月	9.0	0.0	9.0	15.5	54.5	0.0	70.0	7.7
3月	9.0	0.0	9.0	19.0	68.8	0.0	87.8	9.7
合 計	107.0	0.0	107.0	196.0	764.0	0.0	960.0	9.0
1ヵ月平均	8.9	0.0	8.9	16.3	63.7	0.0	80.0	9.0
割 合	100.0%	0.0%	100.0%	20.4%	79.6%	0.0%	100.0%	

9 介護保険通所介護事業

(1) 通所介護事業所 デイサービスセンター「やまゆり」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	利用者数(対象者)	延利用者数	介護度等別							営業日数	1日平均
			事業対象者	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	68	585	2	66	205	133	81	59	39	22	26.6
5月	72	654	3	79	226	146	104	69	27	23	28.4
6月	71	561	0	73	198	113	83	83	11	20	28.1
7月	80	594	0	80	225	95	91	92	11	23	25.8
8月	67	570	0	81	188	132	71	84	14	22	25.9
9月	67	562	0	85	184	136	70	77	10	21	26.8
10月	65	601	0	94	193	175	59	69	11	23	26.1
11月	65	562	0	85	168	182	53	61	13	21	26.8
12月	66	545	0	95	152	172	66	50	10	20	27.3
1月	66	525	0	68	164	166	68	49	10	19	27.6
2月	67	564	0	74	188	152	79	49	22	20	28.2
3月	70	620	0	71	212	152	105	50	30	22	28.2
合計	824	6943	5	951	2303	1754	930	792	208	256	27.1
1ヵ月平均	68.7	578.6	0.4	79.3	191.9	146.2	77.5	66.0	17.3	21.3	27.1
割合		100%	0.1%	13.7%	33.2%	25.2%	13.4%	11.4%	3.0%		

10 介護保険居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

(単位：人)

月別	要介護者数	介護度別					
		予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	144	14	47	26	35	17	5
5月	142	13	45	28	32	20	4
6月	140	12	45	29	33	18	3
7月	144	12	47	32	34	17	2
8月	147	14	49	34	30	18	2
9月	149	15	47	36	31	19	1
10月	144	15	45	37	29	17	1
11月	152	15	49	38	29	19	2
12月	156	15	50	37	30	22	2
1月	155	16	50	37	28	22	2
2月	149	16	43	40	26	22	2
3月	144	14	44	39	26	18	3
合計	1,766	171	561	413	363	229	29
月平均	147.2	14.3	46.8	34.4	30.3	19.1	2.4
割合	100%	9.7%	31.8%	23.4%	20.5%	13.0%	1.6%

11 介護保険訪問入浴介護事業

- ・体制が整っていないため休止中。

12 障害者サービス事業

(1) 地域生活支援事業

① 日中一時支援事業

障がい者が地域で安心して暮らせるよう、保護者の身体的、精神的な負担の軽減を図るため、日中活動の場の提供及び送迎サービス（福祉有償運送）を行ないました。

*登録者	1名	*延べ利用者数	3名	*延べ利用日数	3日
------	----	---------	----	---------	----

②福祉有償運送事業

道路運送法第80条第1項による許可を受け、福祉有償運送を実施しました。

〔利用対象者〕

・日中一時支援事業の登録者であって、単独では公共交通機関を利用することが困難な者。(登録者1名)

〔運送区間〕

- ・総合福祉センターと利用者自宅又は学校及び作業所との区間(日中一時支援事業)
- ・利用者自宅等と外出先との区間(移動支援事業)

*登録者	1名	*運行日数	3日	*運行回数	3回
------	----	-------	----	-------	----

③移動支援事業

利用者が地域における自立生活及び社会参加ができるよう、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じ、外出時における移動の介護の援助を行います。(余暇活動等の支援)

*登録者	2名	*延べ利用者数	14名	*延べ利用日数	14日
------	----	---------	-----	---------	-----

13 地域支援事業

(1) 地域支援事業

ケアマネージャー等との連携を図りながら、利用者とその家族への相談支援を行なうなど、地域福祉推進の視点で取り組みました。また、利用者と地域との関わりにも目を向け、地域福祉担当等と連携を図り事業を実施しました。

①介護予防・生活支援サービス事業(第1号事業)通所型サービス(短期集中型)

ア パワーアップ教室

要支援認定者やチェックリストによる介護予防生活支援サービス事業対象者等を対象として、理学療法士の指導のもとでは、ストレッチ、有酸素運動、簡単な器具を用いた運動等を集団指導で実施し、運動器の機能向上を図りました。

また、栄養士の指導のもとでは、低栄養状態の改善を目指した食事内容の講義、個別指導を行いました。更には、歯科衛生士の指導のもと、日常的な口腔機能向上の訓練の指導、口腔清掃の指導を行いました。

これらの教室では、要介護状態となることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び心身機能の維持向上を図ることを目標に開催しました。

利用者数19名

グループ	期 間	回 数	利用者	男	女	延べ数
1	4月 9日～9月10日	28回	5	2	3	102
2	4月11日～9月19日	28回	3	0	3	78
3	10月 1日～3月24日	23回	7	3	4	147

4	10月 3日～3月12日	25回	4	0	4	75
合 計		104回	19	5	14	402

※新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として、令和2年3月以降の事業を中止しました。対応として電話にて事業中止の説明、不要な外出自粛、手洗いなど感染予防策を促しました。また、個別機能訓練計画書と自宅で行う運動スケジュールを各自に郵送し、自主トレーニングを促しました。

②一般介護予防事業

ア ミニデイサービス

地域の公民館・集会所において（10地区）、レクリエーションをはじめ、趣味・創作活動、肩こり体操・腰痛運動を行い、健康への意識向上・生活習慣の改善を図り、生きがいをもって、外に出る意欲を高め、閉じこもりを防止することを目的に、ボランティア（おおつきお助け隊）の協力をいただく中で実施しました。

延べ参加者数1,214名

月	参加者数
4月	103
5月	113
6月	118
7月	117
8月	122
9月	111
10月	113
11月	107
12月	106
1月	101
2月	103
3月	0
合 計	1,214

※新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として、令和2年3月以降の事業を中止しました。対応として、ミニデイ参加者全員に電話にて事業中止の説明、不要な外出自粛、手洗いなど感染予防策を促しました。また困りごとや相談が発生した場合には電話にて対応しました。

イ 大つきチャレンジ倶楽部

介護予防啓発等を目的とし、比較的元気な高齢者を対象に、集団健康体操、介護予防ダンスなどで体を動かしたり、阿波踊り体操、競技ラジオ体操や車いすダンスレクリエーションの体験をしたり、ミニ運動会や体力測定を行ないました。

登録者数74名

開催回数	延べ参加者数
年12回（月1回）	530

14 保育園事業の運営

「ふたば保育園」の運営については、施設及び人員の整備を行いながら保育環境の充実に努めるとともに、円滑に事業を行えるよう内容の充実を図りました。

令和元年度の園児数及び実施行事は次のとおりです。

(1) 園児数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
1～2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13
3歳児	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11
4歳以上児	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18
合計	48	48	48	48	48	48	49	48	48	47	47	47

(2) 年間行事

月	内 容
4月	入園式、総会、交通安全教室(大月自動車学校、年長組)、個人面談
5月	保育参観
6月	デイサービスセンターやまゆりとの交流会、防犯教室、子育てひろば、プール開き、「浮いて待て」消防士による学習会、防犯教室 交通安全教室(さちかぜ号)
7月	七夕会、夕涼み会、じゃがいも掘り(年長・年中児)、 年長児親子カレー作り、中学生職場体験
8月	プールじまい、学校の先生方一日保育士体験、人権教室
9月	引渡訓練、園外保育、十五夜会
10月	運動会、ツキフェスへ参加(年長児)、子育てひろば
11月	七五三集会、やきいも会、保護者会主催事業、 デイサービスセンターやまゆりとの交流会
12月	おゆうぎ会、地域の方とのもちつき会、クリスマス会、 七保小学校と交流会、
1月	老大新年互礼会参加(年長・年中児)、年長児クッキング、 大月保育園にて観劇会、ヴァン君来園
2月	豆まき会、卒園記念写真撮影、七保小学校と交流会、お別れ遠足
3月	ひなまつり会、お別れ会、きりん広場、卒園式

- ・避難訓練、身体測定、誕生会は毎月実施
- ・健康診断(内科、歯科)並びに尿検査は年二回実施
- ・一日保育士体験(通年)